

# 道路案内標識にあなたの声を！

## 「わかりやすい道路案内標識に関する検討会」 の提言素案に対する意見募集のお知らせ

道路案内標識は、道路交通の安全と円滑を確保するために重要な施設であり、適切な設置・管理が必要です。

また、国際化や高齢化といった社会の変化、利用者ニーズの多様化などにより、わかりやすい道路案内標識の整備は、今後いっそう重要な課題となります。

そこで、平成16年6月に設けられた「わかりやすい道路案内標識に関する検討会」における議論により、道路案内標識のあり方に関する提言素案が作成されました。

ただいま、みなさまにこの提言素案をご紹介しますとともに、ご意見を幅広く募集しております。

こちらをご覧ください。

■ <http://www.mlit.go.jp/road/sign/kentoukai/index.html>



# 案内標識の3つの理念

## User Oriented

### ユーザー重視・顧客志向

- 世の中の変化やそれに伴うニーズの変化を受けて、ユーザーにとって真に必要な標識となっているか



- ユーザーが本当に知りたい情報が何であるかを考え、「ユーザー重視」「顧客志向」の立場に立った標識のあり方の検討が必要



## System-up

### システム・体系性の充実

- 現在の道路案内標識に最も欠けているのは「体系」「システム」



- 「どこに (Where)」「何を (What)」「どのように (How)」提供するかをルールを確立
- 情報提供の基本要素である「指示 (Direction)」と「同定 (Identify)」の双方を確保



## Management

### 標識のマネジメント

- 上記の内容を実際の道路案内標識へ反映していくことが最も重要



- 個別の取組を実現するためのルールと手順を、ガイドライン等で明確化
- 進行管理と達成状況の評価、公表
- P D C A サイクルによるチェックを行いながら確実に実行



国土交通省道路局企画課

03-5253-8111 (内線37562)

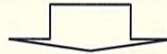
**10月1日～7日は  
全国道路標識週間です。**

# 提言の全体イメージ

－わかりやすい案内標識の体系確立へ向けて－

## I. 案内標識の3つの理念

1. ユーザー重視、顧客志向
2. システム・体系性の充実
3. 標識のマネジメント



## II. 自動車系案内の方向性

1. 路線番号案内の充実
  - 1) 一般道路  
全ての主要交差点標識に、交差する道路のルート番号を表示
  - 2) 高速道路  
高速道路のナンバリングとその表示  
分岐点における方角表示の検討  
有料道路・無料道路の識別性の確保
  - 3) 混乱要因の除去  
バイパス及び重複路線のわかりやすい表示
2. 地名案内の信頼性向上
  - 1) 表示ルールの徹底（乱れの点検と是正）
  - 2) ユーザーに対する周知
  - 3) 色分けによる識別性向上
3. 現在位置の同定性の向上
  - 1) 主要交差点名の表示の充実
  - 2) 地点標（キロポスト）の活用
  - 3) 「地域」の同定性の確保

## III. 歩行者系案内の方向性

1. 情報提供の体系化
  - 1) 情報内容の整理
  - 2) 「指示」・「同定」の手段の充実  
主要交差点名の表示の充実  
その他の著名地点名の表示の充実
  - 3) 「図解」の手段の活用  
地図を用いた案内標識
2. 地域の実態や利用者ニーズへの対応

## IV. 新たな課題への対応

1. 国際化・観光客への対応
  - 1) 英語表記（2カ国語による統一性のある表記の徹底）
  - 2) ピクトグラム（ルールに基づいた表示）
2. 他メディアとの協力関係の構築
  - 1) 他メディアとの連携強化と適切な役割分担
  - 2) データベースの構築と共有化
3. 景観・視環境に対する配慮
  - 1) 必要最小限の表示
  - 2) デザイン・色彩に対する配慮
  - 3) 景観・歩行環境への配慮



## V. 標識のマネジメント

1. マネジメント型の標識計画・管理
  - 1) 管理データベースによる現況把握
  - 2) 目標値と達成状況の把握・公表
  - 3) ユーザーとの接点の強化
2. 協働の枠組の構築
  - 1) マネジメントにもユーザー・地域の声～標識マネジメント会議
  - 2) 目標やシステムの不断の見直し